

高等部第2学年 国語科学習指導案

日時	*年*月*日 (*曜日) **:* ~ **:*	場所	高等部2年*組教室
指導者	長洲 芳美		
単元名	評論 考える手がかり (教材名:「ふしぎ」ということ 東京書籍「新編現代文B」)		
単元設定の理由	<p>本学級は生徒*人で構成されている。学力や学習に対する意欲は個人間にやや開きはあるものの、全体として授業や話し合い活動に前向きに取り組もうとする意欲がある。国語科の学習においては、一斉指導で説明を聞き、教師とのやり取りを重ねていくと展開や内容について概ね理解することはできるが、積極的に読み進めてより深く本文の内容を理解しようとするところまではまだ至っていない。文章を読み、その内容について思考や想像、批評をしながら、考えを表現するというということも苦手としている。自分の主張や考えを説明する際には、根拠(事実やデータ)を示して説明することはできるが、経験や知識をもとに類推・比較・関連付けなどをしながら理由付けをし、詳しく説明することが難しい。生徒にアンケートを行ったところ、文章や発表の構成をすることが苦手、何を言えばいいのかが考えがまとまらなると答える生徒が多い。感想文や作文などを書くことは嫌ではないが、意見文などの論理的な文章を書くことに慣れていない様子も見られる。</p> <p>本単元は高等学校学習指導要領第2章第1節第2款第4節現代文B2目標の「近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる」及び、3内容(1)ア「文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。」、(2)言語活動例イ「論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。」を踏まえて設定した。</p> <p>題材である『「ふしぎ」ということ』は、河合隼雄の「物語とふしぎ」の第一章「ふしぎと人生」の前半をまとめたものである。人間の内的な世界と切り離されたところで発展してきた科学の限界を論じている。それは決して科学の否定ではなく、人間の心の問題を解決するには科学とは違った視点が必要だということである。物語や神話が、人間と世界の関わりを理解する重要な役割を果たすのだという筆者の主張は、人間の理解への新たな視点を提供している。この中で挙げられている話題を関連付けて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深めると同時に、論の組み立て方や文章の展開の仕方を学ぶことができる。</p> <p>指導にあたっては、内容を読み取った上で、筆者の主張に対して肯定・批判の視点から捉え直し理由付けの部分の考えを深めてから、意見を書くという活動に取り組むようにしたい。生徒が思考する場面と生徒同士で意見を交換する場面を設定し、考えを広めたり、深めたりできるようにしていく。タブレット端末のロイロノートスクールアプリを活用し、カードを自由に動かせる、写真を撮ってカードにする、生徒同士や教員からのカードを配信するなどの機能を生かして、思考の過程を可視化、整理ができるようにしたい。生徒が意見や考えを主張する際には、三角ロジック(根拠・理由付け・主張)や思考のスキル(比較・分類・関連・類推など)を学習中に生徒に提示し、思考する際のヒントとなるようにするとともに、主張を支える根拠や理由付けを明確に具体的に表現できるようにしたい。</p> <p>これらの学習活動を通して、他者の意見を聞き、自分の考えを広めたり深めたりしながら、自分の主張に沿って情報を取捨選択し、改めて自分の意見として再構築することができるようにしたい。また、根拠や理由付けを明確にして自分の意見を主張することができるようにしていきたいと考えている。</p>		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に興味をもち、内容の理解を深めようとしている。(関心・意欲・態度) ・論理の構成や展開を工夫して自分の考えを文章にまとめることができる。(書く能力) ・自分の考えが読み手に伝わるように、適切な語句を選択して使うことができる。(知識・理解) (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) 		

指導計画 (9時間扱い) 本時は 第7時	第1次 評論を読み、内容を把握する。
	第1時 単元の目標を知り、第1段の内容を把握する。
	第2・3時 第2～3段の内容を把握する。
	第2次 筆者の主張をさまざまな視点から検討し、意見文を書く。
	第1～3時 肯定的視点や批判的視点で読み、自分の意見をまとめよう。
第4時 肯定的視点や批判的視点からの意見を発表し、話し合いを行う。(本時)	
第3次 意見文を書く。	

[本時の指導]

1 全体目標

- 筆者の主張に対する自分の意見や考えをもとに話し合いをしようとしている。(関心・意欲・態度)
- 友達の考えを参考にしながら筆者の主張に対しての自分の意見を考えることができる。(書く能力)

2 生徒の実態及び個別目標

生徒	生徒の実態	個別目標	主な指導場面 評価方法
A	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を理解することは概ねできるが、それを自分の言葉でまとめ発表したり書いたりして表現することに対して苦手意識がある。 ・筆記に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見の中から、共感できたり参考にできたりするところ取り入れ、根拠や理由付けしながら、筆者の主張に対しての意見を考え書くことができる。 	3・4・5 ロイロノートでの記述・発表の内容・話し合いや発表の観察
B	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章の読解は、概ねできているが、論理的文章の読解や意見文、発表等で筋道立てて表現することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見の中から、共感できたり参考にできたりするところ取り入れ、根拠や理由付けしながら、筆者の主張に対しての意見を考えて書くことができる。 	3・4・5 ロイロノートでの記述・発表の内容・話し合いや発表の観察
C	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章については概ね理解できているが、論理的文章の読解や意見文、発表等で筋道立てて表現することが苦手である。 ・発問に対しては、他の生徒の答えを聞いてから気付くことができる。友達の意見を取り入れてから思考している様子が見られる。 ・上肢の可動域が狭いため、ノートやタブレット端末等を体の近くに配置する、カバーがないタブレット端末を使用するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を積極的に発表したり、友達の意見を参考にしたりして、根拠や理由付けをはっきりさせて、自分の意見を考えて書くことができる。 	3・4・5 ロイロノートでの記述・発表の内容・話し合いや発表の観察
D	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の読解は概ねできている。 ・話し合い活動では、リーダーシップをとり話を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見の中で共感できるところは取り入れながら、根拠や理由付けも入れて考えをまとめ、発表することができる。 	3・4・5 ロイロノートでの記述・発表の内容・話し合いや発表の観察

3 展開

形態時間(分)	主な学習活動・内容	指導の手立て(各Tの役割等) ※評価は□で囲む ☆論理的思考力育成の手立て・★論理的思考力の検証方法	
全 (2)	1 本時の学習目標や活動内容の確認をする。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 筆者の主張を肯定的視点・批判的視点で読み、自分の意見を考えよう。 </div>		<p>☆話し合いをする際にヒントとなるよう思考の方法や三角ロジックの図を提示しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の際には、ロイロノートのカードを送り合いながら活動できるように、一人1台のタブレット端末を用意する。 ・カードは生徒間だけでなく、教師のタブレット端末にも送信し、どのような内容であるのかを確認できるようにしたり、モニター画面に映したりできるようにする。 ・話し合いの中で出た意見は、生徒自身でカードに記入するか、教師がカードに記入しておき、生徒のタブレット端末に配信することで、話し合いがスムーズに進むようにする。 <p>☆理由などがはっきりしない発言に対しては、「なぜそう考えるのか」「たとえば、どういうことか」などと問うようにし、理由を明確に表現できるようにする。</p> <p>☆話し合いの中での意見について、思考の方法の種類をそれぞれ選択して提示する。</p> <p>★自分の意見や友達の見解をもとに、話し合いの中で比較したり関連付けたりしながら考えて、発言をすることができているか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 筆者の主張に対する自分の意見や考えをもとに話し合いをしようとしていたか。(関心・意欲・態度) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにまとめた場合には、タブレット端末で写真を撮り、カードにしておくように伝え、発表で使用できるようにする ・意見を発表する場合には、モニター画面に映すようにし、他の生徒にカードを提示しながら発表できるようにする。 <p>★友達の見解を参考にして、根拠や理由を入れて自分の意見を書き、筋道立てて発表することができているか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 筆者の主張に対しての自分の意見を根拠や理由を考えて書くことができたか。(書く能力) </div>	
全 (20)	2 自分の意見を友達に伝え、筆者の主張に対する肯定的・批判的な視点からの意見を出し合い、話し合いをする。		
個 (15)	3 交換し合ったカードを見て、友達の意見を取り入れながら、筆者の主張に対しての自分の意見をロイロノートまたはワークシートにまとめる。		
全 (10)	4 友達の見解を参考にして考えた自分の意見を発表する。		
全 (3)	5 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。		

【板書計画】

評論 「ふしぎ」について

○筆者の主張を肯定的視点・批判的視点で読み、自分の意見を考
えよう。

筆者の主張

- ・ふしぎと考えることはすばらしい
- ・自然科学によって世界を見すぎて神話を全く放棄してしまう
と、自分の心の中のことや自分と世界との関わりが無視された
ことになってしまふ。
- ・物語の方法を見直そう。

肯定的意見

- ・考えるときには、人が納得できる答えというのがとても大切。
正しい答えが見つかるとは限らないが、納得すれば、科学的に
正しくなくても次に進むことができる。
- ・物語を軽く見ていると、人の心がだめになってしまふと思つた
便利な科学的な世の中よりも、人の心が幸せと感ずることが大
切だと思ふ。

批判的意見

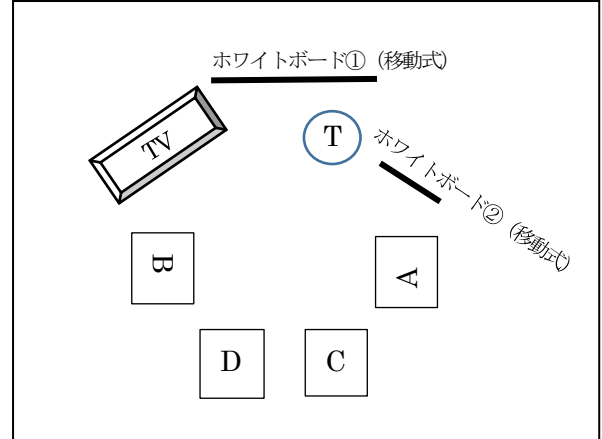
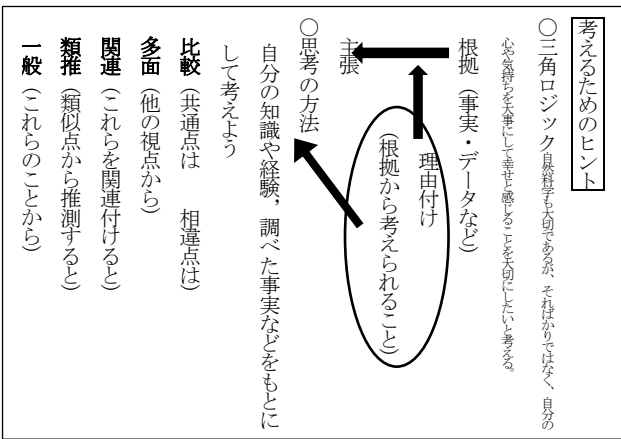
- ・人の心は科学でわかるものではないと思ふ。科学的にわからな
いままでも、自分の心で納得すればよいのではないか。
- ・「ふしぎ」と思ふことは大切だが、小さな「ふしぎ」や生活すべ
てで疑問をもつてしまふと、普通の生活ができない。だから大
人は当たり前になっているのではないか。
- ・自然科学的な発想や考え方がなかったら、今の世の中はなかつ
た。この便利な世の中は成り立たないので、自然科学的な考え
も大切。

筆者の主張に対する意見のまとめ

生徒の意見が書いてあるロイロノートのカードを、
モニター画面に映す

【ホワイトボード②】

【配置図】



【モニター画面】 まとめ カードの例

自然科学的思考も大切であるが、そればかりで偏るのではなく、豊かな生活を送るためには、自然科学も神話のような物語も両方が必要だと考える。時と場合によって、また相手を考えて進んで使い分けるとよいのではないか。

しかし、別の視点から見ると、科学が確立したからその、この便利な世の中である。

なせならば、物語を軽く見ていると人の心をだめにしてしまふと思うからである。人の心は具象化ではわからない。便利な世の中よりも心の豊かさを大切にしたい。

私は、この考え方を賛成である

筆者「自然科学によつて世界を見すぎて、神話を放棄してしまふ」とになり、自分の心の中のことや自分と世界との関わりが無視されたことになり」

※形態の表記は 全体：全，グループ：グ，個別：個